



明日へと導く
駒澤大学の6つの学び

① 文理融合の学びで、豊かな人間性を育む

■全学共通科目

学部・学科に関係なく、専門分野の枠を超えた知識と一般常識を身に付け、総合的に優れた判断能力と人間性を養う。駒澤大学では、4つの科目群からなる広範な学びを開設。文・理の枠にとらわれないカリキュラムで、充実した知の探究が実践できる。

② 新時代に通用する国際感覚を養う

■グローバル教育

広い視野を持ち、主体的かつアクティブに活動する国際感覚豊かな人材に大きな期待が寄せられている。駒澤大学では、国際感覚を養う学修ができるよう多彩なプログラムを用意し、学生の海外への飛躍を支援している。

③ ワンキャンパスの総合大学ならではの

■横断的な学び

すべての学部が世田谷区の駒沢キャンパスにあり、学部学科の専門教育の枠を超えた知識や人間関係を育むことができる。カリキュラムには他学部履修制度など、分野を横断して学べるものが多くあるのも特徴で、バラエティに富んだ講義は学びの幅を広げる。

④ 学生の学びの意欲に応える

■専門性を高める研究所

駒澤大学には現在9つの研究所および2つのラボラトリが設置され、法学・経営・マスコミなど高度で専門的な研究を行っている。ここでは、授業だけでは得られない深い学びを実感することができる。

⑤ 伝統と革新が融合

■知と情報発信の学術拠点

建学の理念でもある「仏教の教えと禅の精神」に基づく教育・研究を行う大学として、環境整備を拡充させている。学修を支える最新施設の種月館（3号館）のほか、大学と禅の歴史を伝える禅文化歴史博物館、140周年記念事業として2022年に竣工された図書館にも高度な学修・研究のための資料や本が豊富に取り揃えられている。

⑥ 将来に役立つ講座が目白押し

■豊富な就職支援講座

将来の夢を実現するための資格取得や、卒業後の進路に向けてのサポートを積極的に行っている。教員採用試験対策、公務員試験対策、面接対策、マスコミ講座など多数の支援講座を用意し、一人一人の将来に向けた活動を支援している。

駒澤教養パスポート

1 建学の理念科目	[仏教]の教えと[禅]の精神に基づく教育科目です。本学は、禅宗の一派である曹洞宗が設置した大学であるため、本学に入学した学生全員が学びます。仏教および禅の基本的な歴史や教義について概説するとともに、仏教が広がった地域社会の生活や文化に与えた影響などについても学びます。また、これらの視点から、人間が生きていく上で直面する様々な問題についても考えることができます。
2 複数言語教育、外国語教育	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語の6か国語を学ぶことができます。また、外国の文化を学ぶ科目や外国の文学を学ぶ科目も用意されており、世界の様々な言葉に触れて新たな魅力を発見することができます。
3 数理解教育、自然科学教育、情報教育	データサイエンス・AIの基本的知識を身に付けてもらうための科目だけでなく、数学関連科目も用意しています。さらに社会でのニーズが高まっている統計分析も学ぶことができます。今は[文理融合]人材が社会で求められていますので、本学では理系科目も入学後に様々な履修できるよう多数の科目を用意しています。
4 多文化理解教育	最も身近な駒澤大学の歴史に始まり、日本や世界の歴史、日本の文化や倫理観、世界の宗教や文化を学ぶことができます。ダイバーシティ(多様性)の時代だからこそ、様々な文化や考え方に触れ多文化理解を深められます。
5 日本語リテラシー教育	大学生として求められる文書作成能力を養うと共に、自分の考えを的確に表現する(他者に伝える)力を身につけてもらいます。自己理解・他者理解を実践し、社会生活を送る上で必要な考え方の再認識を行い、コミュニケーションスキルの向上や日本語の文章表現方法を学びます。
6 教養ゼミ	少人数クラスで議論や発表を行う科目です。コミュニケーション能力のさらなる向上や様々な考え方に触れることで、社会で役に立つ能力が身につきます。所属する学部学科のゼミとは一味違った教養教育のゼミで新たな課題発見力・問題解決力を身につけます。

プログラムの修了

必要な単位を修得し、「駒澤教養パスポート」プログラムを修了すると、修了証とオープンバッジが授与されます。

オープンバッジとは

オープンバッジは、国際的な技術標準であるオープンバッジ規格に則った、知識・スキル・経験のデジタル証明です。ブロックチェーン技術により、オンライン上で簡単かつ瞬時に有効性を検証できるので、信頼性の高い証明となります。SNSやメールの署名、デジタル履歴書などに貼り付けて修得した能力や知識を可視化・証明することで、就職活動など対外的にアピールできるようになります。



かがみよこ
各務洋子学長
米アリゾナ州立大学サンダーバード国際経営大学院修士課程修了。国際基督教大学大学院行政学研究所経営学専攻博士後期課程修了。博士(学術)。米国コンサルティング会社勤務後、駒澤大学講師、助教授、グローバル・メディア・スタディーズ学部長などを経て2021年より現職。

仏教の教えと禅の精神を建学の理念に掲げる駒澤大学は、今年で開校142年を迎えます。1592(元禄元)年、江戸駿河台に設立された前身の「学林」から数えると432年という長い歴史と豊かな伝統を誇り、今日までに25万人を超える卒業生を輩出。7学部8研究科を擁するわが国屈指の総合大学として発展してきました。

東京・世田谷の駒沢キャンパスにすべての学部の学生が集い、文理の枠を超えた多様性豊かな学びを実現しています。今春からは、急速に進むグローバル化やIT化に対応した文理融合人材の育成を目指した学び「駒澤教養パスポート」もスタート。「しなやかな、意思。」のブランドスロガンのもと、「デジタル化の推進による大学のマネジメント改革」と「ダイバーシティの尊重による〈個〉を活かす大学」の実現に注力しています。

駒澤大学

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 入学センター TEL 03-3418-9048 <https://www.komazawa-u.ac.jp/>

仏教の教えと禅の精神を建学の理念に 屈指の総合大学として都心のキャンパスで デジタル化とダイバーシティを推進

文理の枠を超えて学ぶ 多彩な「全学共通科目」

曹洞宗の僧侶が修学するための「学林」を起源とする駒澤大学は、時代の変化に応じて学部新設・改組など大学改革を展開し、現在は7学部17学科8研究科を擁する総合大学として発展してきました。全学部が駒沢オリンピック公園の緑に隣接したワンキャンパスにあり、1万4000人を超える学生(うち女子学生は4割)が、学部や学科など専門教育の枠を超え、人間関係を育みながら学んでいます(次ページ左欄「明日へと導く駒澤大学の6つの学び」を参照)。

教育の基本的な在り方や日常の指針としては、仏教の教えに基づく「行学一如」と「信誠敬愛」を掲げ、学部での専門の学びのほかに、多彩な「全学共通科目」を幅広く学修できます。豊かな人間性を育み、社会で求められる人材として成長するための基礎を築き上げていきます。その全学共通科目は、教養教育科目と宗教教育科目、保健体育科目、

外国語科目に大別され、教養教育科目は人文分野、社会分野、自然分野、ライフデザイン分野の4つに分類されます。ライフデザイン分野では、自分がどのように学びの道を歩み、それを踏まえて将来どのように働き、社会の中で生きていくのかを考えます。外国語科目は国際共通語としての英語の読み・書き・聞き・話す能力を高める学修に加え、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語を学ぶことができるほか、選択科目として朝鮮語を履修することができます。

興味ある学びを見つけ 「駒澤教養パスポート」

2024年度からは、待望のリベラルアーツ・プログラム「駒澤教養パスポート」がスタートしました。グローバル化やIT化が急速に進む中で、多角的な視点と豊かな技術力を兼ね備えた人材へのニーズが高まっていることから、多様な教養科目をバランスよく学ぶことで、文理融合人材の育成を目指したものです。このプログラムは「建学の理念科目」「複数言語教育、外国語教育」「数理解教育、自然科学教育、情報教育」「多文化理解教育」「日本語リテラシー教育」「教養ゼミ」から構成されます。「建学の理念科目」は、仏教の教えと禅の精神に基づく教育科目で、

仏教および禅の歴史や教義について概説するとともに、仏教が広がった地域社会の生活や文化に与えた影響などについて学びます。「多文化理解教育」は、仏教の教えと禅の精神を建学の理念に掲げる駒澤大学は、今年4月にダイバーシティ推進室を設置しました。ジェンダー、セクシュアリティ、年齢、国籍、エスニシティ、文化、宗教、思想、信条、障がい等多様な背景を持つ学生・教職員が互いを理解し尊重しあうことのできる、より魅力あるキャンパスの実現に向けて取り組んでいます。

多様なグローバル支援と 充実のキャリアサポート

駒澤大学ではダイバーシティの理念に基づき、幅広く国際社会で活躍できる人材を育成するため、多様なグローバル支援を整えています。国際センターでは、経験豊富なスタッフが海外で学びたい学生一人ひとりの要望に合わせて幅広く対応しています。

海外留学制度も多彩で、2024年3月現在、31大学と国際交流協定を締結。海外の協定校で学ぶ「交換留学」をはじめ、留学先を自分で選ぶ「認定校留学」、夏・春の休暇期間を利用した「短期語学セミナー」などを用意しています。

こうして必要な単位を修得し、「駒澤教養パスポート」プログラムを修了すると、修了証とともに、知識・スキル・経験に関する国際的なデジタル証明であるオープンバッジが授与されます。

各務洋子学長は、「心の底から興味ある分野で専門性を究めるためには、まずは学問分野の全体像を把握し、どの様な学問があるのか、どんな学問に関心があるのかを知ることから始めて欲しい。本学の学生だからこそ学んで欲しい建学の理念である仏教の教えと禅の精神も深めることができます。本プログラムならではの特色です」と駒澤教養パスポート誕生の経緯を説明します。

デジタル化による改革と ダイバーシティを推進

駒澤大学は、「デジタル化の推進による大学のマネジメント改革」と「ダイバーシティ(多様性)の尊重による〈個〉を活かす大学」の実現に

一方、キャリアサポートも充実しています。全国に広がる求人ネットワークのもと、キャリアセンターでは、一人ひとりとどの面談を重視しており、原則予約不要で随時個別相談に応じられています。企業や団体の協力を得ながら、学生の業界理解や企業理解の促進にも努めています。その他、3年生を対象とした各種就活対策講座だけでなく、低学年向けにキャリア涵蓋のためのイベントなどを実施しています。また、実際に企業や職場を訪問するインターン等の企画や、社会人になった後も活用できる知識を専門の人から教授いただく場を設けています。

各務学長は「大学のブランドスローガンとして掲げている『しなやかな意思』には、変化と多様性に富んだ社会の中で、しなやかに、折れることなく、主体性をもって生きていく心を育んでいく、という思いが込められています。また、駒澤大学の長期ビジョンである『駒澤2030』では、自他協創を標榜しています。この言葉は、人と人との繋がりを大切にし、社会変化を乗り越えるための自己研鑽を続け、卒業後も成長し続ける人材となることを意味しています。仏教の教えと禅の精神はダイバーシティと個を活かす精神を脈々と今に伝えています。駒澤大学で学んだ皆さんが、世界で活躍できる人材に成長できるよう、教職員一丸となってサポートします」と受験生にメッセージを送っています。



禅文化歴史博物館